

湯浅駅(湯浅町)～紀伊内原駅(日高町)

歩行距離 16.9km
標準歩行時間 4時間55分
標準所要時間 6時間50分

熊野古道の宿場として賑わった湯浅から、紀伊路の中でも難所といわれる日高町内原までのコース。コース途中の鹿ヶ瀬峠を下ると、古道最長の石畳道が残っています。

紀伊路最大の難所鹿ヶ瀬峠は、歌人・藤原定家を「次にまたシノノセの山をよじ昇る、雀鬼の陰阻」と嘆かせたところ。峠手前の井関には、旅籠が軒を並べたとされる旅籠通り、峠過ぎには熊野古道で現存する最長の503mにも及び石畳道や茶屋跡、墓石群が古道の雰囲気や今に残っています。石畳を下りれば黒竹の里として知られる原谷の里。古道沿いにも光沢ある黒竹林が並んでいます。

※歩行速度により所要時間は異なります。目安として参考にして下さい。(標準歩行時間は、健脚の成人男性が歩いた際の時間です。)



- 凡例**
- 王子
 - トイレ
 - 公衆電話
 - 自販機
 - 休憩所
 - コンビニ
 - バス停
 - 道標
 - スタンプ

久米崎王子
この分岐点を旧道へ入る

湯浅駅
紀伊宮原駅からの熊野古道

久米崎王子
このあたりは旅籠跡が続く

津兼(井関)王子
津兼(井関)王子跡今は何も残っていない

河瀬王子
急な登り坂のはじまり

東の馬留王子
石畳道の下り坂 熊野古道で現存する最長の石畳

沓掛王子
法華経塚遺跡の碑

西の馬留王子
原谷黒竹工房がここ

内ノ畑王子
一里塚跡 家の塀の間に挟まっている

高家王子
高家王子

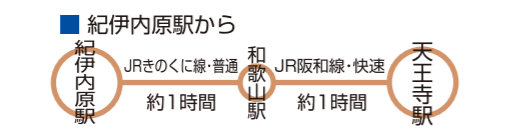
スタート地点までのアクセス

「和歌山駅」からJRきのくに線を利用して、「湯浅駅」へ。また、新大阪・天王寺方面からは「湯浅」停車の特急列車が便利です。



お帰りは

「紀伊内原駅」でゴールし、JRきのくに線で「和歌山駅」まで戻ります。



ひとくちメモ

鹿ヶ瀬峠を下ったところ、日高町原谷地区は日本有数の黒竹の産地として知られています。

標準の歩行記録(参考行程: 見学時間等を含む)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----|------|-----|------|-------|------|----------|-------|------|-------|--------|-------|----|-------|----|-------|-------|-------|------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 湯浅駅 | 9:00 | 勝楽寺 | 9:10 | 久米崎王子 | 9:18 | 津兼(井関)王子 | 10:00 | 河瀬王子 | 10:30 | 東の馬留王子 | 10:50 | 大峠 | 11:50 | 小峠 | 12:30 | 金魚茶屋跡 | 13:00 | 沓掛王子 | 13:35 | 西の馬留王子 | 14:10 | 内ノ畑王子 | 14:40 | 高家王子 | 15:15 | 紀伊内原駅 | 15:50 |
|-----|------|-----|------|-------|------|----------|-------|------|-------|--------|-------|----|-------|----|-------|-------|-------|------|-------|--------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|

(途中で小休憩) (ここで昼食休憩: お弁当)

沿道の花ごよみ

沿道各所
みかんの花...見頃 5月中旬
原谷地区一帯
黒竹...見頃 通年
原谷地区一帯
ささゆり...見頃 6月下旬~7月上旬
花の見頃は年により異なる場合があります。

街道マップ「紀伊路湯浅駅～紀伊内原駅」
紀伊内原駅～西御坊駅(P6)